

ダイキン女子アマG開幕

ゴルフの第2回ダイキンオーキッドレディストーナメント(3月、琉球GC)の出場権を懸けたアマチュア選手権大会が26日、南城市の同GC(南コース6216ヤ、西コース6388ヤ)で開幕した。

垣花果敢 3ダアン首位

東(南)6248ヤ、パー72で開幕した。初日は予選ラウンド18ホールストロークプレーを行い、垣花果那(本部長3年)が4バーディー、1ボギーの3アンダー、69で首位に立った。2打差の2位に森長真理子と川満陽香理(立命館大3年)がつけていた。27日は、24位タイまでの31人が本大会出場権4枠を目指し、最終選考ラウンドに臨む。

垣花果那(本部長3年)が4バーディー、1ボギーの3アンダーで独走。本戦出場への勢いをくくった。昨年、一昨年とも6位で、本選出場4枠を目前に逃してきた。「もう、守りには入らない」。攻めきって、初の「切符獲得」を誓う。要所を押さえるゴルフができた。

グリーンサイド

はた目には安定感抜群に見えたが、「(〇)最近、ショットのぶれがおさまらなかつた。それにしても上出来」と振り返る。スランフ中のティショットで神経をとろとろさせ、「とにかく、まっすぐ。パーオン」を心掛けた。さらにフェアウェイに運ぶだけでは満足しなかつた。「攻めるとミスは攻めた」。最も狙ったのは最終18番(パー5)だ。16番(パー3)でこの日唯一のボギーをたたき、嫌な感傷をぬぐっていた。

要所巧み 本戦出場誓う



3アンダーで回り、2位に2打差の単独首位に立った垣花果那＝琉球GC (伊藤桃子撮影)

「明日のために、もう一つ伸ばしたかった」。フェアウェイをキープし、第3打をグリーン2打につけ、アマを逆転で制した自信から、「虎上がり」になった。最終日に失速する傾向があったが、昨年4月の全統首位への「おめでと」とた。 (松田風平)

川満・森長が2打差2位タイ追走

リカバリー光る



森長真理子

〇…「ラッキーが続いた」。1アンダーの2位タイでホール

アウトした森長真理子は大きく息を吐いた。ショット、パットとも納得いかなかった様子で「方向も距離感も合わなかった。だがそれも、プロテストを見ずして満足度の基準が上がっているからこそ、その厳しい自己評価。事実、リカバリーの精度は増した。「今までと比べて手ぶえはある」と落ち着いた口調で、自信をにじませた。

冷静プレー意識



川満陽香理

〇…川満陽香理(立命館大3年)が冷静なラウンドで好位置

「戦略通りできた」。セカンドショットの時点で、風やグリーン上のラインをしっかり意識。ホールを落とす場所を絞り、安定したパッティングにつなげた。小気味よいラウンドにも、「初日はあつてないようなもの」と慎重に最終日を迎える構えを示した。

第1日成績(パー72・予選通過者)

①垣花 彩那	-3	69	(35)	34)
②森長真理子	-1	71	(34)	37)
②川満陽香理		71	(33)	38)
④与那覇未来	0	72	(36)	36)
⑤比嘉真美子	+1	73	(38)	35)
⑥山口 春歌	+2	74	(39)	35)
⑦小宮満莉花	+4	76	(39)	37)
⑦仲村 渠 円		76	(38)	38)
⑦知念 梨沙		76	(38)	38)
⑩新垣 沙羅	+5	77	(39)	38)
⑪上原 直美	+6	78	(39)	39)
⑫饒平名まなみ	+7	79	(38)	41)
⑫山里 愛		79	(41)	38)
⑫大城美南海		79	(39)	40)
⑫友利 玲子		79	(40)	39)
⑮崎原 朝美	+8	80	(40)	40)
⑮大城ちはる		80	(42)	38)
⑮津波古味寿乃		80	(40)	40)
⑲重元 由佳	+9	81	(40)	41)
⑲垣花 直子		81	(43)	38)
⑲宮城 榮希	+10	82	(42)	40)
⑲小田 理恵		82	(43)	39)
⑲比嘉ゆかり		82	(39)	43)
⑲仲村 幸子	+12	84	(41)	43)
⑲伊敷樹里亜		84	(45)	39)
⑲翁長 由佳		84	(37)	47)
⑲伊波 杏莉		84	(44)	40)
⑲古波蔵 希		84	(41)	43)
⑲与那覇真代		84	(39)	45)
⑲大城奈津美		84	(42)	42)
⑲亀山香織里		84	(41)	43)